

■ 研究課題名

6 広域・複雑化する食中毒に対する調査手法の開発に関する研究  
(国立医薬品食品衛生研究所)

■ 研究の概要

食中毒検査検体として搬入された糞便、ウイルス検査時に抽出、作製したウイルス遺伝子（RNA、DNA または cDNA）を用い、ウイルスの遺伝子型別などを調査する。得られたデータから感染経路の推定など食中毒事例での利用や、ウイルス流行や変異に関する解析などを行う。

■ 研究期間

平成 28 年度

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部ウイルス研究科 秋場 哲哉

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。